百人一首の暗誦 黄 六

久方の 光 のどけき

花の散るらむん

③右

お手本をかく

して読む

紀

友

則

ねいになぞる

紀友則

春の日に

④何も見ずに言う (暗誦)

光

け

き

春

0

日

ジ

な

花

0

散

3

5

む















百人一首の暗誦 黄 七

①すらすら読む

つらぬきとめぬ

白露に

2

いになぞる

③右

お手本をかく

て読む

風

吹

き

秋

野

は

文

屋

朝

康

6

はつ

き

8

ぬ

玉

ぞ

散

け

る

白

露

1

風の吹きしくかぜい 玉ぞ散りける 秋の野は

文屋朝康

④何も見ずに言う (暗誦)

合格チェック
(T)

八

①すらすら読む

浅茅生の 小野の篠原

あまりてなどか 人の恋しき

> 参議 等 さんぎのひとし

②ていねいになぞる

③右 お手本をかく て読む

あ	小	浅	
ま	野	茅	
IJ	の	生	
て	篠	の	
な	原		
۲"			
か、	L		
	0		
人	1),		
の	れ		
恋	と"		
L			参
き			議
			等

④何も見ずに言う (暗誦)



合格チェック





百人一首の暗誦 黄 九

①すらすら読む

由良の門を わたるる舟人

ゆくへも知らぬ 恋の道かな

曾禰好忠

かぢを絶え

ゆ	わ	由	
 <	た	良	
 ^	る	の	
 も	る	門	
知	舟	を	
Ġ	人		
ぬ			
	か、		
恋	ぢ		
の	を		
道	絶		曾
か、	え		 不爾
 な			好
			忠

③ 右

のお手本をかくして読む

②ていねいになぞる

④何も見ずに言う (暗誦)



合格チェック







八重むぐら 茂れる宿のとど 寂しきに

人こそ見えねびと 秋は来にけり

恵慶法師

②ていねいになぞる

③ 右 のお手本をかくして読む

人	茂	八	
CJ	れ	重	
そ	る	む	
見	宿	<"	
 え	の	5	
ね			
	寂		
秋	L		
は	き		
来	に		
K			恵
 け			慶
U)			法
			師

④何も見ずに言う (暗誦)



合格チェック







